

<学校教育目標>

さわやかに、かしこく、たくましく未来を拓く見初っ子の育成

さわやかな言葉があふれる学校に...

校長 川本 朋子

「言葉は身の文（ことばは みの あや）」。どこかで聞いたことのある、このことわざ。「言葉は、その人柄や品位をあらわす」という意味です。少しドキッとします。私が発している言葉は、私という人間をどのように映しているのだろうと...

去る6月3日の「心を育てる人権教講演会」では、講師の末永成一先生から、お互いに温かな関係を築くことができる言葉のかけ方や、自分自身を励ます言葉について学びました。やはり言葉は「生きている」のですね。そういえば、ちょっとした言葉の中にも、その人の心や振る舞い、時には生き方までもが見えてくることもあります。だからこそ、豊かで温かくさわやかな言葉の使い手になりたいものです。

学校では、子どもたちに言葉を大切にする教育を行っています。校内には、「ふわふわ言葉の木」が掲げられ、相手に対する言葉を意識した生活を送っています。国語で、表現豊かな文章について学ぶのも、豊かな自分自身を創る要素の一つになっているように思います。

これからも、言葉を大切にする子どもたちの育成を目指し、さわやかな言葉あふれる学校にしていきたいと願っています。それには、まずは私から、さわやかな言葉の使い手を目指して...



ふわふわ言葉の木も満開に

子どもが真ん中での学校づくり ～学校運営協議会熟議 6月20日(火)～

5, 6年生児童が学校運営協議会の熟議に参加し、テーマに沿って話し合いをしました。保護者や地域の方々と一緒に話し合うという、有意義な会でした。

子どもたちはいろいろな願いを持っています。「自分から進んで学習に取り組めるようになりたいな」「みんなで気持ちよく学校生活を送りたいけど...」「体力作りも大切だな」そんな願いをかなえ課題を解決するために、「自分の考えを大人に伝えたい」「大人はどう思っているのか知りたい」「一緒に考えたい」という思いが実現した今回の熟議でした。

スマートに課題を解決することは難しいのですが、それでも、子どもと大人が同じ土俵に立って一緒に考えるという機会は、貴重な経験になったはずです。何より、真剣に時には和やかに、話し合いに参加している子どもたちの顔が印象的でした。

今後は、話し合った内容をもとに、自分たちでできること、家庭や地域に協力していただくこと等を整理し、少しずつ願いを実現するために動いていくこととなります。

(熟議の様子は、裏面に載せております。ご覧ください。)

進取劣作
校訓 質実剛健
(昭和5年制定)
醇風美俗

山口県の教育目標

未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成

- ・高い志をもち、未来に向かって挑戦し続ける人
- ・知・徳・体の調和がとれた生きる力を身につけるとともに、他者と協働しながら力強く生きていく人
- ・郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人

◎ 見初っ子宣言 ◎
みんなで思い合い、
めざせ笑顔100%
いじめ0%